

令和8年7月1日
健康被害救済部

令和7年度 医薬品副作用被害救済制度に係る認知度調査結果概要について

医薬品副作用被害救済制度及び生物由来製品感染等被害救済制度については、広く一般の方々に制度を知っていただくとともに、医師・薬剤師等の医療関係者の方々には制度の正しい理解を深めていただくことで本制度の確実な利用につながるよう、様々な形で広報を行っております。

認知度調査（インターネット調査）は、本制度の効果的な広報のあり方を検討するため、一般国民及び医療関係者の方々を対象として毎年実施しており、このたび、令和7年度の調査結果がまとまりましたので公表いたします。

この調査結果を踏まえ、引き続き制度の周知や理解を促進するため、関係団体等との連携や様々な広報媒体を活用して、より効果的な広報を展開してまいります。

I. 一般国民に対する認知度調査結果概要

II. 医療関係者に対する認知度調査結果概要

I. 一般国民に対する認知度調査結果概要

1. 調査概要

- 調査目的 医薬品副作用被害救済制度の浸透度を把握し、今後の広報展開の参考資料とする
- 調査対象 一般国民(全国の20歳以上の各年代(20代、30代、40代、50代、60代以上)ごとの男女、計3,091人)
- 調査方法 インターネット調査(登録モニターによるWEB調査)
- 調査時期 令和7年12月19日(金)～令和7年12月23日(火)
- 調査項目 制度の認知率、内容理解度、認知経路、集中広報の評価、関心度など
- 調査実施機関 GMC株式会社

2. 調査結果概要

(1)制度の認知率

▶認知率(「知っている」+「聞いたことがある」) 24.7% (26.3%)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
認知率	33.8%	36.1%	32.8%	26.3%	24.7%

※令和3～5年度は別の同一調査会社

(2)制度の内容理解度(制度認知者ベース)

- ▶公的な制度である 60.3% (60.6%)
- ▶副作用による健康被害について救済を行う 53.6% (53.4%)

(3)制度の主な認知経路(制度認知者ベース・複数回答)

- ▶テレビ放送(CM) 27.1% (29.9%)
- ▶人から聞いた/教えてもらった 24.6% (21.3%)
- ▶病院等に掲示してあるポスター 23.7% (22.9%)
- ▶インターネット(PMDA HP) 13.9% (12.3%)
- ▶インターネット(バナー広告、YouTube等の動画サイト) 13.0% (11.7%)
- ▶医薬品の外箱・説明書 12.3% (12.5%)

(4)集中広報の評価

①テレビCMの認知率と評価

- ▶認知率(見たことがある+見たような気がする) 19.7% (16.3%)
- ▶評価
 - ・印象(記憶)に残った 64.4% (62.7%)
 - ・興味や関心を持った 63.1% (62.6%)
 - ・役に立つ情報が得られた 70.9% (70.5%)
 - ・PMDAのHPにアクセスしたくなった 46.6% (44.3%)

②救済制度紹介動画の認知率と評価

▶認知率(見たことがある+見たような気がする)	6.5%	(5.1%)
▶評価		
・印象(記憶)に残った	61.0%	(60.8%)
・興味や関心を持った	61.0%	(62.0%)
・役に立つ情報が得られた	68.6%	(69.3%)
・PMDAのHPにアクセスしたくなった	47.0%	(46.1%)

③ポスターの認知率と評価

▶認知率(見たことがある+見たような気がする)	14.7%	(-)
▶評価		
・印象(記憶)に残った	75.4%	(-)
・興味や関心を持った	76.3%	(-)

④薬局・院内ビジョンの認知率と評価

▶認知率(見たことがある+見たような気がする)	11.6%	(11.0%)
▶評価		
・印象(記憶)に残った	76.6%	(67.4%)
・興味や関心を持った	78.0%	(67.4%)
・役に立つ情報が得られた	80.8%	(72.6%)

⑤特設サイトの認知率と評価

▶認知率(見たことがある+見たような気がする)	10.9%	(9.8%)
▶評価		
・印象(記憶)に残った	79.5%	(76.0%)
・興味や関心を持った	80.1%	(74.0%)
・役に立つ情報が得られた	81.3%	(76.6%)

⑥リーフレットの認知率と評価

▶認知率(受け取ったことがある+受け取ったような気がする)	7.7%	(6.7%)
▶評価		
・印象(記憶)に残った	71.5%	(65.5%)
・興味や関心を持った	76.6%	(67.5%)

(5)制度の関心度

▶制度の関心度(関心が持てた+やや関心が持てた)	65.3%	(64.2%)
--------------------------	-------	---------

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
関心度	69.5%	69.0%	68.0%	64.2%	65.3%

II. 医療関係者に対する認知度調査結果概要

1. 調査概要

- 調査目的 医薬品副作用被害救済制度の浸透度を把握し、今後の広報展開の参考資料とする
- 調査対象 医療関係者(全国の医師、薬剤師、看護師、歯科医師、医療SW 計2,357人)
 - ・医師 639人 (病院勤務326人、診療所勤務313人)
 - ・薬剤師 656人 (病院・診療所勤務307人、薬局勤務349人)
 - ・看護師 635人 (病院勤務322人、診療所勤務313人)
 - ・歯科医師 222人
 - ・医療ソーシャルワーカー 205人
- 調査方法 インターネット調査(登録モニターによるWEB調査)
- 調査時期 令和7年12月19日(金)～令和7年12月26日(金)
- 調査項目 制度の認知率、内容理解度、認知経路、関与度、制度利用の推奨率など
- 調査実施機関 GMC株式会社

2. 調査結果の概要

(1)制度の認知率

▶認知率(「知っている」+「聞いたことがある」) 84.0% (82.4%)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
認知率	82.6%	83.8%	84.3%	82.4%	84.0%
【職種別内訳】					
医師	92.5%	90.8%	91.0%	92.6%	93.4%
薬剤師	97.0%	96.8%	96.8%	97.2%	97.9%
看護師	59.9%	63.7%	65.7%	56.9%	62.2%
歯科医師	84.2%	85.2%	83.2%	84.2%	86.9%
医療ソーシャルワーカー	-	-	-	74.5%	74.1%

※令和3～5年度は別の同一調査会社。

(2)制度の内容理解度(制度認知者ベース)

- ▶公的な制度である 85.7% (88.5%)
- ▶副作用による健康被害について救済給付を行う 83.9% (86.4%)
- ▶救済給付の請求には医師が作成した診断書などが必要である 74.4% (74.6%)

(3)制度の主な認知経路(制度認知者ベース・複数回答)

- ▶PMDAのHP 25.3% (26.6%)
- ▶人づてに聞いた・教えてもらった 20.1% (18.4%)
- ▶医療関係専門誌 18.9% (21.5%)
- ▶勤務先での研修 14.1% (13.2%)

- ▶パンフレット・リーフレット 13.5% (12.6%)
- ▶病院に掲示してあるポスター 11.8% (10.3%)
- ▶医薬品安全対策情報(DSU) 11.0% (13.4%)

(4)制度の関与度(制度認知者ベース)

- ▶制度の関与度 11.3% (9.5%)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
関与度	13.6%	14.8%	11.6%	9.5%	11.3%
【職種別内訳】					
医師	16.9%	18.9%	15.1%	13.4%	13.4%
薬剤師	16.0%	16.6%	12.0%	10.2%	12.0%
看護師	5.7%	7.4%	7.9%	4.2%	5.1%
歯科医師	13.5%	13.5%	8.9%	4.2%	5.2%
医療ソーシャルワーカー	-	-	-	20.3%	23.7%

▶関与の内容

- ・ 制度の紹介 51.1% (48.7%)
- ・ 具体的な請求手続きの案内 39.9% (48.7%)
- ・ 診断書・投薬証明書等の作成 47.1% (48.1%)
- ・ 請求書類作成の支援(相談等)業務 24.2% (30.2%)

(5)請求書作成等の支援部署の有無

- ▶支援部署有 7.2% (6.6%)

(6)制度利用の推奨率

- ▶制度利用の推奨率 49.0% (48.7%)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
推奨率	60.4%	57.9%	54.8%	48.7%	49.0%
【職種別内訳】					
医師	63.0%	59.9%	55.9%	53.9%	55.6%
薬剤師	72.0%	70.3%	66.2%	60.4%	58.8%
看護師	49.4%	44.9%	43.7%	31.9%	33.7%
歯科医師	55.7%	55.9%	52.5%	49.5%	50.0%
医療ソーシャルワーカー	-	-	-	41.5%	42.9%

- ▶制度利用の非推奨率(「勧めたくない」+「どちらともいえない」) 51.1% (51.3%)
- ▶勧めたくない理由(複数回答)
 - ・ 自分自身が制度をよく理解していない 50.1% (49.1%)
 - ・ 必要書類の作成が複雑・面倒(そう) 26.7% (30.6%)

・不支給の場合に責任を問われる(問われそう)	15.0%	(18.4%)
・支給決定までに時間がかかる(かかりそう)	16.3%	(17.7%)

(7)集中広報の評価

①テレビCMの認知率と評価

▶認知率(見たことがある+見たような気がする)	35.9%	(26.3%)
▶評価		
・印象(記憶)に残った	74.8%	(72.7%)
・興味や関心を持った	72.8%	(72.6%)

②制度紹介動画の認知率と評価

▶認知率(見たことがある+見たような気がする)	14.3%	(12.8%)
▶評価		
・印象(記憶)に残った	68.0%	(67.0%)
・興味や関心を持った	68.1%	(65.5%)

③ポスターの認知率と評価

▶認知率(見たことがある+見たような気がする)	43.1%	(-)
▶評価		
・印象(記憶)に残った	63.5%	(-)
・興味や関心を持った	64.4%	(-)

④院内・薬局ビジョンの認知率と評価

▶認知率(見たことがある+見たような気がする)	20.6%	(18.8%)
▶評価		
・印象(記憶)に残った	80.5%	(77.3%)
・興味や関心を持った	81.3%	(75.7%)

⑤専門雑誌の認知率と評価

▶認知率(見たことがある+見たような気がする)	39.0%	(36.2%)
▶評価		
・印象(記憶)に残った	70.9%	(64.9%)
・興味や関心を持った	73.2%	(64.8%)

⑥特設サイトの認知率と評価

▶認知率(見たことがある+見たような気がする)	27.5%	(22.4%)
▶評価		
・印象(記憶)に残った	66.1%	(60.9%)
・興味や関心を持った	65.9%	(58.4%)
・役に立つ情報が得られた	71.6%	(54.9%)

(8) eラーニング講座

① eラーニング講座の認知率

▶認知率(受講したことがある+試しに少しだけ視聴したことがある+存在は知っている、聞いたことがある)

32.9% (30.4%)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
認知率	30.9%	36.4%	31.8%	30.4%	32.9%
【職種別内訳】					
医師	33.0%	34.9%	32.1%	29.4%	31.6%
薬剤師	41.7%	48.3%	44.7%	42.6%	45.3%
看護師	19.4%	25.9%	20.1%	16.4%	19.1%
歯科医師	29.7%	37.2%	28.4%	31.7%	33.3%
医療ソーシャルワーカー	-	-	-	38.7%	40.0%

② eラーニング講座の認知経路(eラーニング講座認知者ベース・複数回答)

▶インターネット(PMDAのHP)	35.6%	(37.0%)
▶医療関係専門誌	34.3%	(44.8%)
▶勤務先での研修	21.1%	(26.0%)
▶学会・研修会・講演会	16.1%	(20.6%)
▶パンフレット・リーフレット	13.9%	(18.2%)
▶所属する団体を通じて	12.6%	(15.2%)
▶人から聞いた・教えてもらった	11.7%	(14.2%)
▶インターネット(バナー広告)	11.5%	(13.1%)

③ eラーニング講座の受講意向

▶受講希望(受講したい+余裕があれば受講したい)	73.4%	(76.7%)
▶受講したくない理由		
・時間が長くなりそう	8.0%	(6.2%)
・役に立たなそう	2.6%	(1.8%)
・難しそうなので受講したくない	2.3%	(2.9%)
・興味がないので受講したくない	2.0%	(3.1%)